

交野市教委ニュース

第39号（平成28年5月20日発行）

みんなの力で安全と安心を

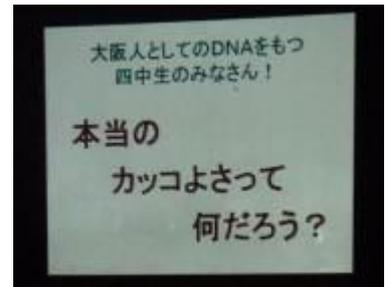
5月19日（木）、第四中学校の生徒へ校区の岩船小学校紺野仁司校長から防災に関するお話がありました。

紺野校長は、この3月まで岩手県釜石市の校長を務めており、東日本大震災の際も釜石市内の小学校長として、子どもたちの安全確保と心のケア、避難所となった学校の運営、授業の再開に向けての調整などに当たっていました。

現在、熊本地震から1ヶ月以上経ちましたが、被災地ではまだまだ厳しい生活をされている方が多くいらっしゃいます。天災には、備えがあってもその想定を上回る事が多くあります。学校では、地域や行政と連携を一層深め万が一に備えます。

また、今回の熊本地震では、交野市内の小学校や中学校で自主的な募金活動が行われました。総額43万4千円の善意が集まりました。これは、被害の大きかった熊本県南阿蘇村の小中学校のために5月25日（水）送金されます。

第四中学校にて（生徒集会、防災訓練前日指導）



東日本大震災の状況、釜石での防災教育の取り組み、震災時の大阪府警や消防、兵庫県警など震災時の活動について、また、そこから、本当にカッコのいい中学生とは？という内容もありました。四中生は、紺野先生のお話しの中にあつた「小学生がかっこいいと思える中学生」として、話をきちんと聞いていました。

募金活動（星田小学校と市内4つの中学校）



星田小学校は校内で。



一中・四中生徒会は、交野市駅や河内磐船駅前でも行いました。



4月27日、各中学校の生徒会長が、黒田市長に集まった募金をお渡ししました。また、星田小学校からは、学校にて児童から八木教育長に募金を手渡され、教育長が市長にお渡ししました。